

分科会新設申請書

部 会 名	ナノテクノロジー・材料部会
分 科 会 名	高分子分科会
課題の内容	<p>高分子分科会は、高分子関連分野を所掌とする公設試験研究機関相互の協力体制を強化し、機関相互の試験研究を効果的に推進し、工業技術の向上を図ることを目的とする。</p> <p>高分子関連分野の活性化の戦略としては、分科会で独自に行う共同研究を重視しており、実績も上がっている。また、分科会連携の中で競争的研究資金の獲得も目指しており、多数のプロジェクト研究を創成してきた歴史的経緯もある。</p>
具体的な目標及び成果並びに効果	<p>具体的には共同研究、研究発表、指導事例の情報交換等を行っている。</p> <p>1．共同研究</p> <p>各地域ブロックから運営委員を選出し、課題選定、各地域の意見集約取りまとめ等を担って効率的運営を行うと伴に学会、各種メディア等を通して産業界への普及を図っており大きな関心をいただいている。</p> <p>H11-13「生分解性プラスチックの全国土壌分解性フィールドテスト」</p> <p>H13「生分解性マルチフィルム」の生分解性評価研究」</p> <p>H16「生分解性プラスチックの適正使用のための分解菌データベース作成に関する研究」</p> <p>H14-16「高分子の劣化予測」</p> <p>H17-19「高分子材料の劣化」(実施継続中)</p> <p>・本共同研究では、日本列島を縦断して各種プラスチック及びリファレンスマテリアルを用いた屋外暴露による劣化試験を実施することにより、劣化層の経時的変化モデルを決定しさらに、これをふまえた残存強度との相関を持つ劣化モデルを提案すると共にデータベース化を目指す。</p> <p>2．プロジェクト研究</p> <p>H11-14「プラスチック環境調和型利用技術の開発研究」(中小企業技術開発産学官連携推進事業)</p>

	<p>H11-14「高分子系廃棄物の複合化による高機能化リサイクル技術の開発」(中小企業技術開発産学官連携推進事業)</p> <p>H14-15「バイオマス繊維/生分解プラスチックの界面制御型複合材料の開発」(地域新生コンソーシアム研究開発事業)</p> <p>H16-17「ポリ乳酸射出成形による自動車モジュール部品の新規開発」(地域新生コンソーシアム研究開発事業)</p> <p>以上、本分科会は高分子関連分野工業の発展に資するものである。</p>
期 間	3年
備 考	<p>分科会長の任期は従来通り2年とし、平成18、19年度は山形県工業技術センター所長が務めることで承認がなされた。</p> <p>平成19年度の開催地は宮崎県とすることで承認された。</p> <p>各機関の分科会への参加の確認、ナノテクノロジー・材料部会への所属、分科会名称については、12月末まで文書で回答してもらい、それらを集約して正式の申請書として提出する準備を進めている最中である。</p>
分科会長	<p>地域連携室にお問い合わせ下さい。</p> <p>029-862-6145</p> <p>会員の方は専用ページをご覧ください。</p>
分科会事務局	同上
分科会開催数/年	1回/年
分科会開催形態	会議、見学会等